

伊賀市社協 だより

令和4年11月1日発行

No.200
11月号

あいちの未来



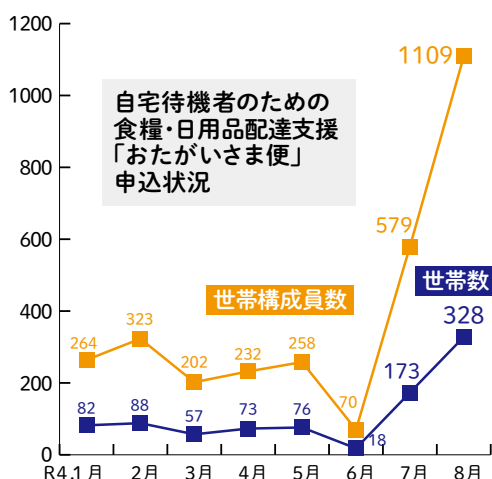
今月の特集

生活の危機にある人や子どもたちを
一人でも多く救うために
～コロナ生活危機への挑戦～

FCノ一試合会場における
赤い羽根共同募金運動
(上野運動公園にて)

生活の危機にある人や子どもたちを 一人でも多く救うために ～コロナ生活危機への挑戦～

令和2年からの新型コロナウイルス感染症による市民の生活危機に対し、伊賀市社協では自らの使命として緊急支援活動に継続的に取り組んでいます。活動を通じて、危機を乗り越えている現状をご紹介します。



者への食糧・日用品配達支援「おたがいさま便」の利用を求める声が殺到しました。倉庫内の食糧は瞬間に底を尽き、

■自宅待機者急増、食糧や日用品の支援の依頼が殺到

「食べるものがない、住む場所がない、働く場所がない、人と会えない」新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、私たちの生活を一変させました。令和4年7月、第7派の猛威で自宅待機者が急増し、伊賀市社協が寄付金によって独自事業として実施している、自宅待機

食糧や日用品を買い求め職員は奔走しました。梱包作業の職員を3倍に増員しながら、申込者の切迫した状況を想像しながら、できる限り各世帯の年齢や症状などに応じた食糧セットをひとつひとつ用意しました。対応の上限を超えて市内を奔走する日が続き、8月に入ってついに対応の限界を超えた日が



■「家族全員が感染、家族を助けたい。」

そのような中、大勢の市民から助けを求める電話が殺到しました。小さな子どもの感染も多く、喉の痛みや熱などの症状を聞き取りながら、紙おむつやゼリー食など、状況に合わせたセットを用意しました。一方で、食糧が空っぽになった倉庫、足りない資金、職員

の体力の限界、「使命感だけでは、コロナの猛威に打ち勝つことはできないのか」と、目に見えないウイルスという敵に、職員は悩み続けました。

■企業からの、配達や袋詰めボランティア協力

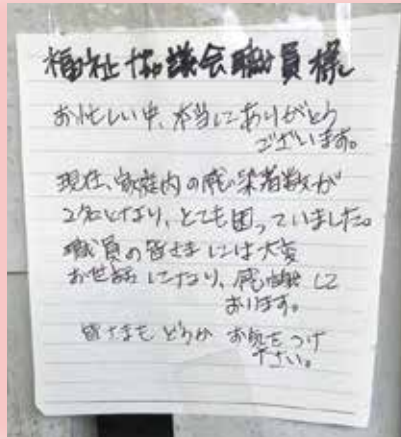
以前、配達ボランティアを申し出ていただいた地元企業に電話をしました。「お急ぎでしょう。いつでも配達をお手伝いできる用意があります。」と仰ってください、その言葉に救われました。次の日には配達車両に同乗、2日後には配達の一部を配達ボランティアとして担ってくださいました。

また、食糧や日用品の共通セットの地元スーパーも袋詰め協力してくださいました。上限を超えてご相談があった方々に、無事にお届けすることができて、職員みんなではっと胸をなでおろしました。



■食糧等の配達を受けたからのメッセージ

ある日、「おたがいさま便」をお届けしたお宅の玄関先に、スタッフへの労いの言葉が書かれた、手書きのメモが貼られていました。



いつもは、「おたがいさま便」をお届けした先では扉越しであるため、お届け先の方とのコミュニケーションが難しく、この活動がただのお役に立っているか分からない状況でした。

今回、スタッフへの温かいメッセージを頂戴したことで、スタッフや関係者の胸が熱くなり、第7波では限界を超えての活動ではありましたが、心の支えとなり、元気が出ました。

■二度目の緊急支援募金呼びかけ

令和4年8月、追加の緊急支援募金と、待機期間中を過ごせるための食糧の備蓄を呼び掛けました。新聞記事にも掲載され、多くのご支援をいただきました。「大変だけれど、頑張つて。」と応援してくださる市民のみなさんの声に励まされました。

ある日、小学3年生の女の子とお母さんが事務所に来られ、お母さんが、「コロナで、みなさん大変ですよね。この子が、どうしてもお小遣いで寄付をしたいと言うので。」と、購入した新生児用の紙オムツやトイレットペーパーなどをご寄付してくださいました。女の子が、お母さんのお話を聞いて自ら寄付をしたいと考えて、一緒に必要だと思ふものを親子で選んで窓口まで来てくださったことに、スタッフはみな、とても嬉しく温かい気持ちになり、女の子に「どうもありがとう。頂いたものは、支援が必要な方に、責任を持つてお届けするね。」とお伝えしました。



■伊賀市は、温かいまちだと実感

新型コロナウイルス感染症は、失業して食べることができなくなったり、住まいを失うこと、親の減収によって子どもの学業に影響が出たり、交流の場に出かけられなくなるなど、多くの生活課題を生み出しています。

私たちは緊急支援活動を通じて、食べることや住むこと、繋がり続けることなどの生活危機に対して、寄付者や

●「おたがいさま便」の活動にご協力をいただきました



「ライフラインを担う企業として何か地域貢献したいと考えていたところ、社協から相談があり、本業として配達を行っていい部門で協力できると判断しました。」と、上野ガス配送センター(株)代表取締役社長の澤野さん(上写真左)。

伊賀市社協と「おたがいさま便」の協力事業者として協定を締結、第7波では100件以上の配達をボランティアで担ってくださいました。「仕事の片手間にはしたくないと思い、通常の配達とは別車両を手配しま

ボランティアなど、延べ1,000人を超える一緒に社会課題解決の活動に参加してくださる方々と出会い、伊賀市には温かい人がたくさんいることを実感しました。

伊賀市社協は、これからも社会課題解決に向けて動いていきますので、ぜひ一緒に活動を応援してください。

新型コロナウイルス緊急支援募金及び協力者を募集しています

伊賀市社協 電話 3310064

した。」と、取締役の古市さん(上写真右)。自宅待機者それぞれの状況などに心を配りながら、社員のみなさんと丁寧にお届けしてくださいました。

また、食糧や日用品の共通セットの袋詰め作業にご協力いただいた、イオンリテール(株)イオン伊賀上野店の船越店長(下写真左)は、「日頃から地域に何か還元したいと考えていました。『誰かが休めば誰かが助ける』のは、会社でも社会でも一緒のこと。社員もおたがいさま

便の活動に賛同し、各部門から袋詰め作業に快く協力しています。」と話してくださいました。



ふるさと伊賀から、一人暮らしの学生へエールを贈ります!!

いが学生\エール\便



申込期限

▶令和4年12月23日(金)



新型コロナウイルス感染症の
感染拡大により影響を受けている
一人暮らしの学生のみなさんを、
ふるさと伊賀から応援します。



▲梱包イメージ

- 対象** 伊賀市出身の一人暮らしの学生（大学・短大・専門学校生等）※おひとり1回まで
- お届け内容** 伊賀産のお米および、保存食品、生活用品などの詰め合わせ
- 申込方法** 専用申込フォームもしくは伊賀市社協ホームページより、必要事項をご記入ください。
- 申込期間** 令和4年1月～令和4年12月23日（金）
- お届け方法** 申込後、2週間程度で宅配便でお届けします。

☆保護者からのお申し込み場合は、学生本人に受け取っていただくようお願いください
☆不在連絡票が入っていた場合は、配送業者に連絡の上、速やかにお受け取りください。
☆申請後、帰省などで長期間不在になる場合は、下記までご連絡ください。

申込専用フォーム

申込・問い合わせ先

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 企画調整課
☎0595-33-0064 FAX0595-26-0002



この事業は、「伊賀市社協 新型コロナウイルス対策緊急支援募金」を活用します。また、お届けするお品は、地元企業などからのご支援を得て実施します。

 伊賀市社会福祉協議会

ふるさと伊賀から、
一人暮らしの学生へ
エールを贈ります!!

いが学生 エール 便

“学生さんからの
メッセージ”
一部ご紹介



活動が制限される状況ですが、勉強や学外の活動がかなり忙しく、ずっとパソコンに向き合い続ける生活に疲れていたので、地元で見た商品が届いてんだかほっとしました。パソコン外でつながりを感じられて嬉しかったです。

コロナ禍問わず、勉強を怠る事はいけない為、日々コツコツと努力しています。いつか伊賀に恩をお返ししたいなと思いました。またこのような支援があればとても嬉しいです。

私は大学で医療・福祉の勉強をしていて、周りの人を笑顔にしたいという気持ちがあります。入学からずっとコロナ禍での学生生活で、十分に大学へ行けなかったり実習ができなかったりしていますが、夢をバイトもできなくて大変なことも多いですが、夢を叶えるために頑張っています。皆さんからの支援で笑顔を貰えました。今回の支援して頂いた皆さんの気持ちを忘れず、これからも頑張ろうと思います。

私はコロナ禍で孤独を感じながら日々勉強に励んでいます。伊賀市の皆さんも辛い日々が続いているかと思われませんが、一緒にこの危機を乗り越え、明るい未来があると信じて日々生きましよう。

伊賀市社協 新型コロナウイルス対策緊急活動として、市民からの寄付金や企業からのご支援により、地元出身の学生への生活支援として「いが学生エール便」をお届けしています。

「いが学生エール便」を受け取られた学生さんから、頂戴したメッセージを一部ご紹介します。

学生のみなさんの声から、故郷を離れての一人暮らしの心細さや、コロナ禍でアルバイト収入が減収していること、人と交流できず、学習環境にも大きく影響を受けている状況がわかりました。

まだまだ大変な状況ではありますが、それぞれに充実した学生生活が送れるよう、伊賀から応援しています。

故郷である伊賀の産品を頂き、とても懐かしい気持ちになり、これから勉学に励み、将来伊賀に貢献出来れば良いなと思いました。伊賀を出て1年過ぎましたが、18年間過ごしてきた街は今でも忘れない思い出であり、これからの学生生活、そしてその先も頑張ろうと思いました。

家族や友達、伊賀から離れて寂しい思いをしており、このような形で伊賀からの応援、ぬくもりを感じられたのが1番嬉しかったです!

私は先生になるために勉強を頑張っています。数年後、立派な先生になって伊賀に帰って来れるようにもっともっと頑張ります。今回はありがとうございました。助かりました。

収入源がほぼ無くなり、生活するのが大変になった今、このように全力でサポートしてくれる環境があり、大変感謝しています。さらに日用品などが生活に欠かせないお米、さらにこのようにサポートしており、とても嬉しかったです。このようにサポートしていただけたおかげで私自身、現在している勉学をさらに頑張ろうと思うことができました。

伊賀市障がい者福祉大会
講演会 参加者募集

伊賀市障がい者福祉連盟主催「令和4年度第12回伊賀市障がい者福祉大会」において、改正障害者差別解消法や三重県内の取り組みについて知るとともに、障がい者差別をなくすために今私たちができることに
ついて学ぶための講演会を開催します。

どんな障害があっても、地域でもに暮らすことができ、誰一人取り残されない地域社会を実現していくために、一緒に考えてみませんか。

【日時】12月10日(土)

午後2時30分～午後3時30分

【場所】ゆめぼりすセンター2階
大会議室

【テーマ】「障がいのある人の視点から、全ての人が共に生きる社会をめざして」

【講師】NPO法人ピアサポートみえ
理事長 杉田 宏さん

【申し込み・連絡先】
伊賀市障害者福祉連盟事務局

☎ 33・0064

伊賀音楽療法研究会主催
音楽療法講座 受講者募集

伊賀音楽療法研究会・第134回音楽療法講座を開催します。音楽療法に興味を持たれた方、初めて音楽療法を学ぶ方も歓迎いたします。

【日時】12月18日(日)

午後1時～午後4時

【場所】上野東部地区市民センター
(予定)

【内容】音楽療法講座「音楽療法の過程で生まれる物語」課題への視点ともの一つの視点」

【講師】吉田 豊氏(おんがくファーム まんどうろ・日本音楽療法学会認定音楽療法士)

※日本音楽療法学会認定講座(申請中)

【参加費】一般 3,000円(当日)

【申込み方法】①氏名 ②連絡先携帯番号 ③メールアドレス ④所属を記入して、メール又はFAXをお送りください。メール(FAX)受け取り確認は、数日後メールで返信いたします。

★申込みメド 12月9日(金)

【申込み・問い合わせ先】伊賀音楽療法研究会(代表 藤森裕子)

0565(38) 1415

f.yuko711@gmail.com

※状況により変更になる場合があります。

国土交通
大臣認定

「移動・送迎サービス運転協力者講習」
「セダン講習」受講者募集!!

令和4年度 第2期講習

- 定員30名(定員になり次第締切)
- 受講に関して、年齢は不問

福祉有償運送業務や、セダン車を使用した運送業務に関する基礎的な知識及び技術を習得!

令和4年 11月12日(土)・13日(日)
8:30～17:30 ※2日間の受講が必要
いがまち保健福祉センター「愛の里」
(伊賀市愛田513)



◆受講料(資料代を含む)

伊賀市・名張市在住在勤の方10,000円
その他の方12,000円

◆申込・問い合わせ先

いが移動送迎連絡会事務局(伊賀市社協内)

☎21-5866・FAX26-0002

※申込用紙は、伊賀市社協 HP ダウンロード
または伊賀市社協各地域センター窓口で配布

⑥移動困難



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、延期する場合があります。

ご家族からの「困りごと」を
聞かせていただきます。

サポステ は、「働くこと」についての不安を相談出来る場所です。
さまざまなプログラムを活用して、就職に向かっていきます。
ご本人ひとりでの来所が難しい時は、ご家族も一緒に来所してください。

✳就職相談
✳各種講座

利用無料
要予約

仕事に
いかせる!!

無料パソコン講座

【ワード】12月5日(月)/7日(水)

【エクセル】12月12日(月)/14日(水)
/19日(月)

時間 13:30～16:00

サポステ出張相談(ハローワーク伊賀)

11月20日 ☎13:00～16:00

●15～49歳までの、働きたい悩みを抱えている人と、その家族を支援しています。

サポステ

☎&FAX/0595-22-0039 ✉iga-saposute@npo-enor.jp

伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階

■開所日/月～金 9:00～17:00(土日祝・年末年始は休み)



広告募集中!





▲ 10/1「赤い羽根共同募金開始式」
(伊賀市総合福祉会館にて)

三重県共同募金会では、人々に元
氣と勇気を与え、また、人と人を結
びつけること等スポーツの持つすば
らしさと「じぶんのまちを良くする
しくみ」の共同募金が連携して取組
みを進めています。

8月25日、三重の赤い羽根サポ
ーター宣言式を執りおこない、「伊賀F
Cくノ一三重」がサポーター宣言書
へ署名し、共同募金活動や共同募金
とのコラボグッズの販売などで協力
することになりました。

試合会場等で募金活動を行うほ
か、コラボグッズとして「手裏剣キ
ホルダー」をお渡ししています。

【連絡先】伊賀市共同募金委員会事務局
☎33-0064

スポーツ×共同募金運動開始
伊賀市共同募金委員会

イベント用品
ガス機器貸出中止のご案内

伊賀市社協では、地域福祉活動
を行う団体等へ、イベントやレクリ
エーションの用品を無料で貸し出し
ています。

このたび、イベント用品貸出備品
のうち、鉄板焼機、焼いも機、たこ
焼き器等のガス機器については、経
年劣化による修理が必要な機器があ
ることや、定期的なメンテナンス
ができていないことにより、ガス漏
れ等による事故が発生する恐れもあ
り、貸出を中止させていただきます
た。

今までご利用いただいております
た地域や団体みなさまには、ご迷
惑をおかけしますが、ご了承ください
いますようお願い申し上げます。

伊賀市社協ホームページ
イベント・レク用品・車いす貸出
のご案内▼



歳末たすけあい募金配分事業 福祉映画会



© 2021「お終活」製作委員会

■と き／2022年12月11日 日
①10:00～②13:30～(30分前から受付)

■ところ／前田教育会館 蕉門ホール
(伊賀市大谷 670 ☎24-5511)

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合があります。



熟年離婚寸前の夫婦が、葬儀社の男から紹介された終
活フェアをきっかけにてんやわんやの大騒ぎ!
人生百年時代と言われる今、定年後に訪れる「熟年の
青春＝熟春(じゅくしゅん)」を明るく迎えるために人生
整理に動き出す家族の騒動をコミカルに描いた「笑って」
「泣けて」「役に立つ」ヒューマンコメディが幕を開ける!!

監督・脚本／香月秀之 主題歌／「切手のないおくりもの」財津和夫
出演：水野勝、剛力彩芽、橋爪功、高畑淳子、松下由樹 ほか

※鑑賞券／一般前売券 1,000 円(当日1,300円)
小中高生前売券 800 円(当日1,000円)

●鑑賞券を希望の方は、申込受付フォームまたは、
伊賀市社協か前田教育会までご連絡ください。
●鑑賞券は、当日会場で代金と引き換えます。
(受付開始 11/1(火)10:00～ 前売券は事前予約のみ)
●席は主催者で指定 ●乗り合わせにご協力ください



申込フォーム

○主催／公益財団法人 前田教育会 ☎0595-24-5511 ○共催／(福)伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-33-0064
○後援／三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会

数字で見る伊賀市の福祉

令和4年8月末現在（前月比）

伊賀市の人口	▶ 87,612人（-80人）
65歳以上の高齢者	▶ 29,472人（-8人）
高齢化率	▶ 33.6%（±0%）
75歳以上の高齢者	▶ 15,808人（+49人）
後期高齢化率	▶ 18.0%（±0%）
介護保険認定者数	▶ 6,219人（-62人）

※伊賀市の人口、65歳以上の高齢者及び高齢化率、75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人住民を含めています。

※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を、後期高齢化率と表記しています。

※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

あなたのまちの
ふれあい・いきいきサロン

No.186



サロン御殿会

メンバー数／15名
場所／東谷出屋敷集議所
開催頻度／月1回

サロン御殿会は、身近な地域で旧知の人々と定期的に交流することで、楽しみや生きがいを感じてもらいたいという思いから、介護予防や地域力向上を目指して、20年近く続いています。

サロンの主な内容は、地域の情報交換です。協力員のみなさんによる、手作りのご飯やおやつやデザート等が出されると、その話題でも盛り上がります。季節の行事としてお花見、敬老会、クリスマス会、新年会等も行っています。折り紙で作品が完成した時や、ビンゴゲームで1番になった時の弾んだ声や笑顔が、会員みなさんの笑顔を引き出しています。

代表の大藪さんは、「90歳代から60歳代までの親子のような関係の会員が集い、ささやかな内容であっても、月に一度なじみの人と顔をあわせ、互いの存在を確認しあうことが、大きな楽しみです。継続していく必要性を強く感じていますので、努力していきたいです。」と言っておられました。

我ら！ふくし
レンジャー

No.195



おちあい としゆき
落合 敏之 さん（70歳）
いがまち在住

●活動を始めたきっかけ

教職員として市内小学校を定年退職した後、民生委員児童委員や区長として困りごとの相談に応じたり、見守り活動をする中、地域の福祉活動に携わり始めました。今年4月からは、壬生野地域まちづくり協議会会長として、安心安全な地域づくりに取り組んでいます。

●活動内容

平成31年2月に地域が主体的に地域課題を検討する場として「壬生野福祉ネット」が発足しました。少子高齢化、空き家の増加など、様々な課題がありますが、高齢になっても元気に活動でき、安心して子供が育てられる地域になるよう、課題解決に向けて進めています。

●今後の抱負

伊賀市の「キラッと輝け！地域応援補助金事業」の採択を受け「壬生野地域総合防災訓練事業」を3年事業として実施してきました。今年は事業の最終年度として、11月6日に壬生野地域総合防災訓練（伊賀市総合防災訓練）を実施し、防災マニュアルも作成します。来年度以降も防災訓練は継続する予定で、地域の防災力向上に努めていきます。

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
いがまち	〒518-1313 馬場 1128番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1313 馬場 1128番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
大山田	〒518-1422 平田 656番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988の1番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555



編集後記

新型コロナウイルス第7波は落ち着きを見せ始め、コロナ以前の地域活動やイベントも新たな形で徐々に戻りつつあります。今冬に予想される「第8波」と季節性インフルエンザの同時流行も懸念されますので、体調管理にお気を付けてください。

●この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。

No.200 11月号

8